

議 事 録

会 議 名	令和6年度第1回山都町地域公共交通会議
開催日時	令和6年8月21日（水） 10:00~11:00
開催場所	矢部保健福祉センター千寿苑
出席者	別紙のとおり

1. 報告事項（事務局（上村）説明）【資料1】

（1）前年度の運行実績等について

・意見等なし

2. 議事

（1）山都町地域公共交通会議設置要綱の一部改正について【資料2】

（平野委員・熊本運輸支局）

・補足をさせていただく。このガイドラインは、今年の4月26日に首長判断の導入について改正があったものだが、当然交通会議に諮る前に、事業者と行政でコミュニケーションを密に取り、うまく進めていくことが必要であるが、一番重要なことは「住民の足の確保」であり、なるべく議論が長引くことがないように、今回の改正が行われたところである。日頃から事業者と行政の連携を密にされているとは思いますが、そこを踏まえたうえでの改正であることを御認識いただきたい。

・その他意見等なし、全会一致で承認

（2）熊本バス「馬見原線」の廃止について【資料3】

・意見等なし、全会一致で承認

（3）熊本バス「馬見原線」の廃止に伴う代替措置について

（小林委員・熊本運輸支局）

・使用する車両については、29人乗りの車両から、8人乗りの車両と様々あるが、基本的には、29人乗りの車両を使用するというのでいいか。
→（事務局）
・お見込みのとおりである。朝夕の運行は高校生の利用があるため、基本的には29人乗りの車両を使用したいと考えている。ただし、昼間の便

は、車両の状況によっては、10人乗りや8人乗りの車両を使用する場合もあると考えている。

(小林委員・熊本運輸支局)

- ・使用する車両にバス型の車両があるため、運行するルートについては、交通の安全上、また道路の構造上、バスが走っても支障がないかが重要になってくるので、その点に関しては、警察あるいは道路管理者と適宜調整を行っていただきたい。
- ・路線バスにおいて、数年前に「危険なバス停」としてニュースで取り上げられた事例があった。バス停に関してもそこをバス停として使用することについて安全上の問題がないかということに注意していただきたい。
- ・道の駅通潤橋に新しいバス停を設置されるとのことだが、他社の高速バスが乗り入れている。乗り入れする時刻によっては、他社との調整が必要になってくる可能性もあるため、事務局の方で確認していただきたい。

→ **(事務局)**

- ・御指摘いただいた点について、しっかり調整させていただく。

・その他意見等なし、全会一致で承認

3. その他

(深瀬委員・南阿蘇交通株)

- ・地域公共交通として、馬見原高森線も検討していく必要があるのではないかと思います。通潤橋も国宝指定され、町外からの観光客が馬見原から高森、南阿蘇鉄道へ接続するようなこともできるのではないかと思います。町外からの観光客、インバウンドも含めて山都町に来てもらえるような交通も考えていく必要があると思うので、ぜひ検討していただきたい。

→ **(事務局・北課長)**

- ・先日、南阿蘇鉄道さんが町長に表敬に来られた際にも同じような話になった。非常に大切なことであると考えている。ただ、運転手不足について懸念がある。いい方向に持っていけるよう、前向きに検討していきたい。

(平野委員・熊本運輸支局)

- ・平成21年に熊本運輸支局に赴任した際、すでに山都町では自家用有償旅客運送に取り組んでおり、斬新な取り組みをされていると感じた記憶がある。利用実績を拝見すると、利用者がじわじわ減ってきており、

斬新な取り組みではあったのだが、やはり時代の変化、状況の変化は当然ある。今年の4月からは乗合タクシーを始めており、時代時代に合ったニーズを捉えていただいて引き続き取り組みを進めてほしい。バス・タクシー・自家用有償運送それぞれを公共交通としてしっかり残し、住民に移動の足の確保に努めていただきたい。また、町外からの観光客やインバウンドに対しても情報発信をしっかりとやっていていただきたい。また、運転手不足に関しても移住定住と絡めて施策を実施したりなど、様々な方法があると思うので、事業者と協力しながら進めていってもらいたい。